

第 4 回 定 例 会

市 長 行 政 報 告

令 和 2 年 1 1 月

北 広 島 市

令和2年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 新型コロナウイルス感染症への対応について

まず始めに、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。道内での感染拡大を受け、北海道では、感染状況に応じた警戒ステージを11月7日にステージ3に引き上げ、11月17日には札幌市を対象にステージ4相当の対策を行うこととしたところであります。

本市の状況についてであります。11月25日現在、107名の感染者が確認されているほか、障がい者支援施設において施設内クラスター（集団感染）が発生し、これまでに市外の方も含め110名の感染者が確認されております。

また、11月14日には、本庁舎に勤務する市職員1名の感染が確認されたことから、即日、消毒作業を行い、14日及び15日は庁舎を閉鎖し、16日から通常どおり開庁しているところであります。

市民の皆様には、厳しい状況が続いておりますが、改めまして、手洗いと咳エチケットを徹底し、人と人との距離を取り、集団感染の要因となる「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けていただくなど、感染リスクを回避する行動を実践いただきますようお願いいたします。

次に、本市における新型コロナウイルス感染症への対策についてであります。これまで、国の交付金等を活用し、緊急支援や感染症の長期化対策、回復に向けた取組等を実施しているところであります。

PCR検査センターにつきましては、北海道からの委託を受け、北広島医師会との連携により、9月1日から週3日開設しているところであり、11月25日現在、498件の検査を実施したところであります。

なお、11月25日からは、冬期間における気象条件を考慮し、これまでのドライブスルー方式によるセンターでの検体採取から、対象者が事

前に配布された容器に唾液の検体を自己採取してセンターに提出する方式へ変更したところであります。

インフルエンザ予防接種費用への助成につきましては、予防接種法による定期接種の対象である65歳以上の高齢者等に加え、令和2年度は対象者を拡大し、小中学生、高校生、妊婦及び特定の障がいがある方に対しても助成を行っているところであり、10月の接種件数は、高齢者が約6,100件、小中学生等が約1,200件となっているところであります。

プレミアム付商品券につきましては、9月15日から10月9日まで、北広島商工会において、1冊10,000円で販売する13,000円分の商品券40,000冊の購入申込みを受け付け、抽選の結果20,325名の方に購入引換券を送付しているところであり、10月28日から11月30日まで市内郵便局での販売、11月2日からは店舗での使用が開始されたところであります。

観光版プレミアムチケット「キタヒロトレジャー」につきましては、10月末時点で総額34,462,000円分が使用されたところであります。

また、新たに、産後ケア事業を実施する子育て支援施設等に対して、感染症対策に要する経費の補助や小中学校のICT環境の整備等を行ってまいりたいと考えており、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

今後につきましても、新型コロナウイルス感染症の状況、地域経済や市民生活への影響を見極めながら、市民の皆様の安全・安心に向けた取組を進めてまいります。

医療従事者の皆様におかれましては、大変厳しい環境の中、感染症対応に真摯に向き合っていていただいておりますことに感謝申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症につきましては、誰もが感染する可能

性を認識していただき、被害に遭われた方々への誹謗中傷などは厳に慎んでいただくようお願いいたします。

また、この事態に対応しているすべての方々に労いと敬意を表し、正しい確かな情報に耳を傾け、差別的な言動に同調せず、冷静な行動を実践していただきますようお願いいたします。

2 大曲中学校大規模改造事業等について

次に、大曲中学校大規模改造事業等についてであります。昨年度から実施してまいりました中央校舎及び南校舎の老朽化に伴う大規模改造事業が、9月30日をもって完了したところであります。

また、東部小学校外4校の体育館につきましても、バスケットゴールの耐震化を実施し、9月9日をもって完了したところであります。

今後につきましても、計画的な改修を実施し、安心・安全な学校施設づくりに努めてまいりたいと考えているところであります。

3 令和2年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）の受賞について

次に、令和2年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）の受賞についてですが、一般財団法人地域総合整備財団において地域の振興、活性化に資する事業活動を実施している民間事業者を顕彰するものであり、緑陽小学校跡施設を利活用して「北広島団地地域サポートセンターともに」を開設した社会福祉法人北海長正会が受賞したところであります。

北海長正会では、「北広島団地地域サポートセンターともに」を拠点に、介護サービスの提供をはじめ、子育て支援や地域交流など、地域の生活課題に向けた積極的な取組を実施しており、これらの取組が評価されたものであります。

地域に根ざした取組を実践されている法人に感謝を申し上げるとともに、地域住民の活動の場、交流の場として、さらなる活動の広がりを期待しているところであります。

4 成人式について

次に、成人式についてですが、民法の一部を改正する法律が令和4年4月1日から施行され、成年年齢が20歳から18歳に引き下げとなりますが、本市におきましては、令和4年度以降につきましても、20歳の方々を対象年齢として成人式を開催することとしたところであります。

式典名「成人式」につきましても、民法上の成年年齢と異なることから、検討してまいりたいと考えております。

なお、本年度の成人式につきましても、令和3年1月10日に開催する予定としているところであります。

5 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進について

次に、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進についてですが、10月4日にボールパーク推進期成会事業といたしまして、エルフィンロードや北海道ボールパークFビレッジ建設地周辺をウォーキングするイベント「Fビレッジを歩こう！」を開催したところでもあります。市内外から約200名の参加があり、建設地を眺めながら、ウォーキングを楽しんでいただいたところでもあります。

なお、本事業はファイターズあしあと基金との共催で実施をしており、参加者全員の合計歩数の10分の1にあたる135,518円があしあと基金に積み立てられ、道内のパラアスリート支援などに役立てられる予定となっているところでもあります。

10月18日には、北海道日本ハムファイターズや建設施工業者の協力により「Fビレッジ建設地見学会」を開催したところでもあります。当日は晴天の中、市内外から約1,200名の来場があり、着々と進むスタジアム工事の様子や北海道ボールパークFビレッジの壮大さを目の前で体感していただいたところでもあります。建設地見学会につきましては、次年度以降も定期的を開催し、多くの皆様に建設工事の進捗をご覧いただきたいと考えているところでもあります。

11月22日には、「ボールパーク構想推進シンポジウム」を多くの皆様にご来場いただき開催する予定でしたが、市内での新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、無観客で実施したところでもあります。プログラムは当初の予定通り、北海道日本ハムファイターズのスペシャルアドバイザー田中賢介氏による講演のほか、スポーツに関わる6名によるパネルディスカッションを行い、スポーツの持つ可能性について理解を深めました。なお、当日の様子は、参加申込みをいただいた方や、その他希望する方々へ広く配信していく予定としております。

次に、ボールパークに伴う各種工事についてであります。新球場につきましては、可動式屋根のレール部分の工事や、北側スタンドの躯体工事などが進められております。また、周辺の道路につきましては、4車線へ拡幅する工事や電線類を地中に埋設する無電柱化工事、上下水道整備に関する各種工事が進められております。工事実施にあたりましては、片側交互通行などの交通規制を行っており、市民の皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をいただくとともに、事故の無いよう万全を期してまいります。

6 令和2年7月から令和2年9月までにおける寄附について

次に、令和2年7月から令和2年9月までにおける寄附についてであります。現金による個人・企業等からの寄附につきましては、18件、8,962,636円、「ふるさと納税」につきましては、1,675件、39,011,000円となり、合計で1,693件、47,973,636円の寄附をいただいたところであります。

また、物品等の寄附につきましては、マスクや食料品など26件となっております。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げるとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

なお、本定例会において「ふるさと納税」寄附金の増加に伴う必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。